

平成 26 年度（大道小学校）環境教育出前講座「みんなで考える 地球にやさしく ヒトにも便利な かしこい移動のしかた」の実施報告

はじめに

- 平成 24 年度から実施している「地球温暖化と交通」に関する環境教育出前講座について、本年度は 2 月 27 日に大道小学校で開催しました。
- これまでの授業では、横浜市より講師を派遣し講座を開催する形式でしたが、今回は教材の準備を横浜市が担当し、小学校の校長先生が講師となり講座を実施した、初めての開催形態となりました。

1 出前講座の概要

- 京急逗子線六浦駅から約 500m 北側に位置する横浜大道小学校（金沢区）にて、交通手段の選択と地球温暖化との関係を学習する授業を開催しました。
- 6年生を対象に全 5 回に渡り開催されている総合学習の授業「自分の将来について考えよう」の最終回として、校長先生に座学とグループワークの授業を行っていただきました。

【大道小学校の位置と交通の特徴】

- ・六浦駅から徒歩約 7 分、金沢八景駅からバスで約 7 分。
- ・金沢八景駅から京急本線で横浜都心部まで約 18 分。



テーマ みんなで考える 地球にやさしく
ヒトにも便利な かしこい移動のしかた

目的 地球温暖化のしくみや、交通手段の選択と温室効果ガスの関係を学ぶとともに、グループワーク（以後GW）を通じてみんなで考える。

実施日 平成 27 年 2 月 27 日（金）
1 校時 8:45~9:25 座学
2 校時 9:30~10:10 グループワーク

対象者 大道小学校 6 年生（2 クラス）

■座学■



■グループワーク■



2 出前講座の内容

- 出前講座では、「①交通手段の選択と地球温暖化との関係を学ぶ」、「②自分たちの日常生活の中での“かしこい移動”を考える」ことを目標に、以下の内容で 2 校時の授業を行いました。

座学 交通手段と地球温暖化との関係を学ぶ

内容 パワーポイントを用い、2 クラス合同で座学を実施

配慮点 子どもたちが自ら参加する雰囲気をつくるため、授業途中でクイズを行う等、自分の考えを発言する機会を多く設けています。

教材 座学用冊子（A4 版 12 ページ）
モビリティマネジメント漫画（A4 版 2 ページ、2 種類）



●モビリティマネジメント学習マンガリーフレット
※子供たちに公共交通の必要性や大切さを知ってもらうため、市内専門学校の学生と協働で作成した漫画です。

GW おつかいに行くときの「かしこい移動」を考える

内容 身近なお店や公園に、指定の“おつかい”や“遊び”に行く際の“かしこい移動”を考える GW

配慮点 大きな地図や、おつかい内容・交通手段のカードを事前に準備し、子どもたちが自分で交通手段を考え、その内容が地球環境にどのような影響を及ぼすのかを考えられるよう配慮しました。

また、お年寄りや車いすの方など、子どもたちに同行する人、移動を考えるときに重視する条件をサイコロで決めて、これらの状況に合わせた移動のしかたをどう変えるのか、考える機会を設けました。

教材 ①グループワーク解説書（A4 版 14 ページ）
②書き込み用地図（A1 版：右図参照）
「おつかいに行くときの移動のしかた」
③おつかいカード（シール式）
④同行者カード（シール式）
⑤交通手段カード（シール式）

■書き込み用地図（書き込み例）



3 出前講座の結果

■座学では…

- 今回の授業は6年生を対象としているため、ほとんどの子供たちが、地球温暖化のことを「知っている」「聞いたことがある」と答えました。
- 大道小学校の子供たちの多くは、電車やバスに乗ったことがあり、区外まで利用したことがある子供もいました。身近な移動手段として、公共交通が浸透していると感じました。
- また、校長先生からクルマの便利な所について子供たちに問いかけた場面では、環境への負荷のことを認識したうえで、お年寄りの移動などでのクルマの便利さも正しく認識しているようでした。
- 一方で、座学の最後に行う「自転車の正しい交通ルール」の場面では、ほとんどの子供たちが自転車を日常的に利用していると回答しました。歩道でスピードを出して走ること、自転車同士で並んで走ることなどは止め、自転車の交通ルールを守ることの大切さを確認しました。



■グループワークでは…

- グループワークでは、「八景島に遊びに行く」ことと、少し離れた場所にある「三井アウトレットパークにおつかいに行く」ことを想定し、移動手段を考えてもらいました。
- 目的地が自転車で行くには少し遠い場所であったため、サイコロでランダムに決める「同行者（お年寄りなど）」と「移動の条件（環境にやさしい／楽に行くなど）」に合わせて、電車やクルマなど様々な移動手段が提案されました。
- 出前講座の目的である【かしこい移動】とは、必ずしも「二酸化炭素を出さない」ということに固執するものでなく、おつかいの内容や、一緒に移動する人の状況、移動するときに気を付けることなどに合わせて、電車も、バスも、クルマも、自転車も上手に組み合わせて使うことを言います。
- 子供たちは、条件に合わせて【かしこい移動】を自分たちで決めることができおり、多くのグループが、座学で学んだ環境のことを考えながら、電車やバスを上手に使う移動経路を提案しました。
- その中で、例えば「車イスの人」「お年寄りの人」と一緒に動くグループでは、電車やバスを使うグループ、あえてクルマで移動するグループと、それぞれが話し合っって最適と思う方法を考えていました。



4 出前講座の実施結果を踏まえた今後の進め方

■今後の進め方

- 今回の出前講座では、校長先生自ら座学・グループワークを実施していただきました。
- 講座実施にあたって、「指導者向け手引書」を用いて、学習の目的や座学、GWの流れ等を校長先生と打合せを行いました。「指導者向け手引書」は、講座の趣旨や目的を限られた時間の中で分かりやすく講師の方に伝えるために作成したものです。今後、横浜市が講師を派遣するのではなく、学校の先生が自ら講師となって本講座を実施できる学校が増えていくよう、本手引書を有効に活用したいと考えています。
- また、これまで市主体で開催してきた講座同様に、グループワークでの「考える時間」と「発表の時間」が十分に取れないことが課題として見えてきました。これまでの講座の開催結果を考慮しながら、40分の授業時間の中でいかに理解を深めてもらうかを検討します。

改善の取組 GWでのタイムスケジュールを提案

- グループワークでは大きく「説明」「検討」「発表」の段階があり、40分の限られた授業時間の中でまとめていく必要があるため、「詳細なタイムスケジュール」と「各段階での決めごと」を整理します。

■グループワークの成果（例）



「できるだけ移動時間を短く」するため、バスが使える所はバスを使い、歩く距離が少ない提案です。車イスと一緒に動かしやすそうです。



「できるだけ楽に移動」するため、行きは電車で、帰りはクルマで動く提案です。結果的に色々な交通手段に乗る、楽しい移動経路になっています。